

青森県男女共同参画センターオープンカレッジ
林家カレー子さんが講演

12月20日(土)平川市文化センターにて「青森県男女共同参画センターオープンカレッジ」を開催しました。

『しあわせのつくりかた～女(あなた)も男(あなた)も輝く21世紀～』と題して、漫才師である林家カレー子さんが、会場を訪れた350人の聴衆を前に、軽快な語り口で講演をしました。



2児の母親でもある林家カレー子さんが、自分の体験も織り交ぜながら男女共同参画について語り、漫才師ならではの話術に、会場からはたくさんの笑いがあふれていました。

また、講演の後、青森県男女共同参画センター副館長の小山内世喜子さん、平川市男女共同参画推進会議委員の武田英子さん(本町)と山田悠子さん(尾上)の3人が林家カレー子さんを囲んでミニトークを行いました。



オープンカレッジ来場者にアンケートを行いました!

Q: オープンカレッジに参加しての全体の感想は?

回答	人数	%
非常に満足した	57人	32.9%
満足した	88人	50.9%
少し物足りなかった	17人	9.8%
物足りなかった	1人	0.6%
無記入	10人	5.8%

80%以上の方にご満足いただきました。

平川市
男女共同参画
情報誌



きあらし
ひと
ひらかわ
かお

青森県男女共同参画センター
平川市



第4号

2009年3月発行

平川市女性団体ネットワークが設立！！

9月5日、市内の女性団体の連絡組織として『平川市女性団体ネットワーク』が設立され、平川市文化センターで設立総会が開催されました。会長には連合婦人会の山口絹子さん（碓ヶ関）が選ばれました。

ネットワークには13団体が加入し、それぞれの団体がお互いの活動を知り、情報交換をしたり、協力し合うための横のつながりとして大いに期待されています。

今年度は各団体の活動内容を紹介した冊子を発行したほか、12月に開催したオープンカレッジの運営にもご協力していただきました。



オープンカレッジ終了後、カレー子さんを囲んで。

平川市女性団体ネットワークに加入した13団体

No.	団体名	代表者
1	連合婦人会	山口 絹子（碓ヶ関）
2	交通安全母の会	今井 恵子（松崎）
3	老人クラブ連合会女性部	松田 とし（猿賀）
4	平賀町商工会女性部	佐藤 成子（唐竹）
5	平賀地区更生保護婦人会	原田 幸子（唐竹）
6	碓ヶ関地区更生保護女性会	野呂 照子（碓ヶ関）
7	J A津軽みらい津軽みなみ女性部	葛西 三枝（新屋）
8	J A津軽みらい津軽尾上女性部	工藤 れい子（猿賀）
9	食生活改善推進員会	小田 桐 和（中佐渡）
10	向陽母親クラブ	赤平由記子（吹上）
11	柏木町母親クラブ	葛西富美子（本町）
12	平賀地区生活改善グループ連絡協議会	小野 敬子（尾崎）
13	本町花輪会	福土恵美子（本町）



平川市女性団体ネットワーク会員募集中！！

女性団体ネットワークでは会員を募集しています。市内を活動拠点とする女性団体であれば加入できます。詳しくは下記へお問合せください。

教育委員会生涯学習課社会教育係（平川市文化センター内） TEL44-1221

日本女性会議2008とやまが開催されました！

「日本女性会議」は毎年全国の各都市が持ちまわりで開催している日本最大級の男女共同参画のイベントで、平川市では毎年、参加する市民の方に費用の一部を助成しています。

今年度は富山市で開催され、今井千都子さん（小和森）のほか、市職員2名も参加しました。

日本女性会議では、子育ての問題、企業の取組みなどについての講演やシンポジウムのほか、分科会「子育て」や「豊かな地域づくり」に参加し、男女共同参画の現状や課題などについて学びました。

また、最後に歌手の加藤登紀子さんによる「土のひびき」と題した記念講演があり、鴨川自然王国での取組みなどについてのお話に、2700人の来場者が聞き入っていました。

来年の日本女性会議は大阪府堺市で開催されます。平川市では来年も参加者（2名）への助成を行います。参加者の募集は広報ひらかわ5月号に掲載します。



大盛況!! 齋藤千恵子の「家族愛と絆」

2月20日、平川市文化センターにて男女共同参画趣旨普及事業として「齋藤千恵子の『家族愛と絆』」が開催されました。

齋藤千恵子さんはあらや保育園の園長を務めるかたわら、感性豊かな子どもたちの育成のために自分を磨きたいとの思いから、平成12年より週末に上京して声優養成所に通い、野沢那智代表のもとで芝居等を学び、海外ドラマなどで声の出演を続けるなど、大活躍されています。

第1部では、齋藤さんが声優として出演されている韓国ドラマ「ありがとうございます」の上映を行い、第2部では齋藤さんによる講話を行いました。講話では、くじけそうになりながらも子どもたちや保育園のスタッフ、家族の応援に支えられ、じょっぱり魂で声優養成学校へ通い続けたエピソードなどについてお話をいただきました。着実に自分らしく学ぶ姿は美しく

輝き、会場内に多くの感動を呼びました。続いて齋藤さんを囲んで実行委員によるミニトークが行われ、150名の来場者は、男女共同参画についての理解を深めました。（武田 記）



齋藤千恵子の「家族愛と絆」実行委員会（敬称略）

（ミニトーク参加）古川のり子、山田悠子、山口絹子、武田英子
（司会進行）今井千都子

お子様の医療費は申請すれば戻ります！！



小学校に入学する前のお子様の医療費は、申請すると戻ってくることをご存知でしたか？

これは、子どもを安心して産み育てることができる環境づくりのために市が行っている事業で、「乳幼児医療費給付事業」といいます。

以前は3歳児までのお子様を対象でしたが、平成20年10月からは小学校に入学する前のお子様まで、対象となる年齢を拡大しました（ただし所得制限があります）。

★申請するといくら戻ってくるの？

入院や外来で支払った医療費（保険外診療分、食事療養分等を除く）。ただし、4歳児以上は外来で月1500円、入院で1日500円の自己負担があります。

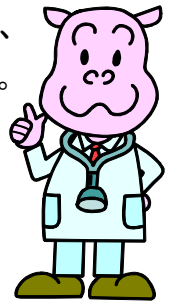
★申請はいつまでにするの？

病院に行ってから6ヶ月以内に申請してください。

★申請に持って行くものは？

保険証、受給資格証、医療費の領収書、印鑑、預金通帳

★申請・お問合せ：市民生活部健康推進課保健係（健康センター内） TEL44-1111 内線 1143



『我が家の男女共同参画』大募集！

みなさんのお宅ではどんな取り組みをしていますか？夫婦の約束事、いつの間にかできた暗黙のルール、小さなことで構いません。楽しい『我が家の男女共同参画』を教えてください。応募のあったものを次号でみなさんに紹介します。

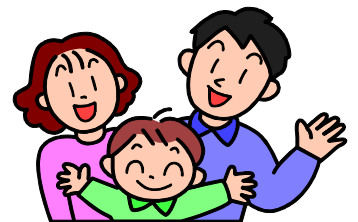
★子どもの学校行事にはできるだけ一緒に行っています。

★夫がいれるお茶は結構おいしい。

★妻の飲み会の時は送り迎えをしています。

郵便、またはEメールで、『我が家の男女共同参画』の取り組みと

住所・氏名（ペンネーム可）を記入の上、市役所総務課（このページ一番下の宛先）へお送りください。お待ちしております！



●『きあらひらかわ』の『きあら』とは？●

「キアラ」はイタリア語で「光り輝くもの」「よろこびをもたらすもの」を意味します。平川市男女共同参画推進プランの基本理念である「互いに認め、支えあう、男女（ひと）がきらめく平川市」のとおり、輝く未来を見つめながら性別にかかわらず1人ひとりがお互いを認め、自分らしさを十分に生かせる平川市をめざしたいという願いを込めています。

〈編集後記〉

「きあらひらかわ」も第4号。少しでも皆様に読んでもらえるようにと、初めて編集会議を開催しました。字を大きく、イラストを入れて、こういう記事の方が…といろいろなアドバイスをいただきました。Tさん、Yさん、Sさん、ありがとうございました(^人^)感謝♪(た)

ご意見・ご感想をお待ちしています！

〒036-0104 平川市柏木町藤山 25-6 平川市役所
総務課行政改革係 TEL44-1111（内線 1353）

Eメール：gyoukaku@city.hirakawa.lg.jp